

2019年〇月〇日

脳卒中科・脳神経外科に通院中の患者さまへ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

【対象となる方】2009年1月1日～2018年12月31日の間に、脳動脈瘤に対し待機的に血管内治療を受け、遅発性脳内多発病変を発症された方

【研究課題名】脳動脈瘤に対する血管内治療後の遅発性脳内多発病変に関する多施設共同後ろ向き観察

【研究代表者】 廣畑 優 久留米大学医学部 脳神経外科学講座

【研究参加施設および各施設代表者】

愛知医科大学	脳神経外科	脳血管内治療センター	宮地 茂
亀田総合病院	脳神経外科		田中 美千裕
久留米大学医学部	脳神経外科学講座		廣畑 優
久留米大学医学部	放射線医学講座		田上 秀一
筑波大学附属病院	脳卒中科・脳神経外科		松丸 祐司

他、全国多施設

【目的】脳動脈瘤に対する待機的脳血管内治療後に生じた遅発性脳内多発病変の疾患全体像および不良な臨床転帰に至る予測因子を明らかにする。

【利用するカルテ情報・資料】

年齢、性別、身長、体重、既往歴、画像検査、治療内容、治療経過

【試料・情報の第三者への提供について】

カルテ情報・資料は電子メールで、画像情報はDVD-Rに保存して郵送で、いずれも研究事務局（久留米大学医学部 脳神経外科学講座）に送付され、解析されます。

【研究期間】倫理審査委員会の承認後より2020年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。また、本研究に関わる記録・資料は当院においては研究終了後10年間保存いたします。

【問合せ先】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、または御自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記までお問い合わせください。

御自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としますので、2020年3月31日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

筑波大学附属病院 脳卒中科/筑波大学医学医療系 脳卒中予防・治療学講座

担当医師：松丸 祐司、早川 幹人

電話：029 (853) 3220（脳神経外科、平日・9時～17時）